

令和7年4月2日部長会議 会議録（要旨）

◇日 時 令和7年4月2日（水） 午前9時00分から午前9時40分まで

◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室

◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、経済産業振興部長、観光文化部長、スポーツ部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、政策調整監及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・新年度最初の部長会議である。皆様のお力をフルに発揮していただきたい。組織の見直しによる新体制のもと、新たなメンバーでの会議となる。
- ・新年度当初予算の「健康・福祉」「地域・防災」「経済」「交通」の4つの柱を中心に、引き続き「未来への投資」につながる施策・事業を通して、市民の皆様暮らしの変化を実感していただけるよう、私たち行政が先頭に立ち、進めてほしい。特に、新年度の新規事業は、年度の前半から早期に実施できるよう進めてもらいたい。
- ・昨今の喫緊の課題に対応するため、今年度、新たに公民連携推進局、政策調整局を新設した。市内路線バスの廃止など、刻々と変化する社会・経済情勢への喫緊の課題への対応、将来を見据えた中心市街地などのまちづくりや新たな産業の創出など、多様化する市民ニーズも踏まえながら着実に対応する必要がある。このため、特定の部局で対応することが困難な課題に対し、政策調整局が中心となり、しっかりと庁内調整を進めてもらいたいと考えている。政策調整局の旗振りのもと、各部局においても全庁的な視点を持って、時には他の部局へお節介を焼きながら、時代に即した施策の立案や見直しなど、日々の仕事の中で、関係部局同士が協力し、知恵を出し合ってより良い解決策と方向性を導き出してほしい。
- ・新規採用職員を新たに迎えた。市長講話では、分からないことは抱えこまず、部長や課長に相談するよう話した。部局長の皆さんも若手職員に声をかけ、情報を共有し、各所属職員のアイデアや、市民感覚からなる意見をしっかりと吸い上げて、施策・事業に反映させてほしい。縦のつながりと横のつながり、若手職員への気配りをよろしくお願ひしたい。

1 一括議論・一括承認事項

（1）次期長野市総合計画策定方針（案）について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長の説明省略。（資料1参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

（2）長野市人口ビジョン改訂版（案）の決定について（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長の説明省略。（資料2参照）

○質疑

[総務部長]長野市の将来の人口を30万人にする根拠について審議会委員からも理由の説明をしっかりとしたほうがいいという意見があった。資料17ページのグラフなど出生率などの数値の積み上げかと思う。例えば、出生率を何

パーセントにあげるにはこういった政策が必要だとかの見方もできるのかと思うので、この推計となった理由を説明してほしい。

[企画課] 17ページの人口推計の推移表は、平成27年度、令和3年度と今回改訂する令和7年度の人口ビジョンを表にしたもので17ページの下表は自然動態と社会動態の仮定値の推移であり、これが推計の算出根拠である。令和3年度改訂版の出生率の仮定値が少し現状と乖離しているといった見方があったので、今回の令和7年度改訂では仮定値を見直し、現状と合わせた推計に修正して、目標は30万人とした。また、11ページに「約30万の人口を確保することを目指す」とあるが、一定の人口規模で成立する都市機能の例として総合病院、大学、商業施設といったものをしっかりと維持できる都市規模として人口30万人を確保し、その上で長野地域連携中枢都市圏の中枢都市として、圏域全体の社会経済を支え、豊かな市民生活、安定した行政経営を実現していきたい。

○今後の方向性

原案を了承

(3) 長野市水道ビジョン・水道事業経営戦略（案）に対する市民意見等の募集（パブリックコメント）結果及び水道ビジョン・経営戦略（案）の決定について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長の説明省略。（資料3参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

2 その他

(1) 令和7年度 予算執行方針について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料4参照）

○質疑なし

(2) 川合新田水源の今後の対応について（上下水道局）

標記事項について、上下水道局長から説明した。（資料5参照）

○質疑なし

以上